

## まちづくりネットワーク岸和田

平成17年10月26日(水) 18:30~21:00

講師：斉喜昭彦さん

出席者：正ヶ峰、東山、西出、佃、星川、秋山、勇、松阪、西川、池阪、正保、渡辺、室田、川岸、山本、渡辺、木村、河原、長田、野路、石橋

司会：正ヶ峰 記録：石橋、

正ヶ峰／こんばんは司会の正ヶ峰です。大芝校区です、座って進行します。ゲストスピーカーの斉喜先生です

講師／こんばんは、講師といわれると心苦しいのですがこのような機会をいただきありがとうございます。日頃は、神須屋町の大阪技能専門学校に勤めて少林寺拳法を教えています。当校は、3級整備士の資格が取れて、体育コース、情報コースもあり職業訓練的な学校。月水禽は、脩齊小学校で午後6~8時少林寺拳法を60名に教えています、体育協会の理事をしている。スポーツ少年団本部長で、相撲取りかと思われる体格で、少林寺拳法7段の腕前。



インドから、中国へわたり日本へ。終戦後四国で青少年を集めて始めようとしたが集まらなかった。昭和22年から58年間2950か所で開催。岸和田では、5箇所。

寺の僧が護身術のために習っていた。600の技があり、身に降りかかったことを振り払う勇気を持ってもらうことを目的にしている。半分は自分の幸せ、半分は他人の幸せを思って実施指導しています。きっかけは、剣道の先生から「けんかばかりしていないで、人を助けるような気持ちをもてないのか」といわれたこと。道具は人を傷つけるものではなく、バットは球を打つものであり、瓦は屋根につかうもの。使い方次第で生かされる物と凶器となるものがある。心の持ち方の大切さをおしえてもらいました。

子どもたちに教えるににくいことは、人に接する言葉の使い方で、指導の一環としてノートのやりとりをしていて、どんな些細なことでも必ず一人ひとりに返事を書いています。ノートの成果については、コミュニケーションづくりに役立っていて、親の気持ちなども書いてもらっています。指導者の資質を子どもが見抜いていて、子どもが鏡であること実感しています。

食事前の挨拶、家でも実行するようにいっているし、家では生徒がリーダーで、家で出来たか学校でできたか必ず聞く。こどもは認められるとうれしい。集中力を高めるために、2年前から卓球やキャッチボールなどの球技を取り入れている。最後の15分間で、それぞれ発表させているけど、むりのしないような範囲で。だんだん積極的になってくるし、人や物を見る姿勢ができてくる。

いまの子どもは、聞く耳をもてない。たとえば、「たばこを吸うな」と言うよりも、頼むから

ここではすわないようにと」いうとやめる。熊取から堺まで、JRの了解で阪和線の電車内指導もしています。自分が変われば人も変わると思う、注意や指導方法は、聞く耳を持ってもらうような工夫が必要だとも思います。

青年団の、華集め（寄付集め）についても厳しく言わせてもらいました。組織のよさがある反面、華集めや、酒を飲まされるとか、夜遅くまで練習させられる、という悪い面があります。団長を頂点とした統率力で、一年間地域に役に立つ活動をして、その評価に見合ったような、イメージをよくするようにと提案した。たとえばこどもの日には、ダンジリを出して開放しているし、山の草刈、薬剤散布をしていることをもっとアピールしたらいいのではと。山手と濱の、よくない面の対抗意識が芽生えているようで。



親も怖くなくなっていて、昔は怖い存在の人がいたけど、それも今はいなくなった。親の言うことは聞かないが、青年団では先輩の言うことは聞くので、このような組織の先輩後輩の結束力の関係を地域づくりに活かせるように期待している。方法として、一年間ラジオ体操を実施するとか、正しい歩き方を教える場所の提供も生涯スポーツにつなげていけたらとおもう。土曜日の学校開放は、子どもは塾通いが現状で実際はできていない。高齢者から子どもまでいっしょに楽しくできるスポーツを、出入り自由なグラウンドボールのようなものを提供できる場所でありたいと思います。

司会／名前と聞きたいこと感想があれば教えてください。

勇／浜校区です。若いころ青年団でしたことをおもいだしました。昭和23, 24年ころとは違っている。顧問、相談役と5年しました。そのころは華のノルマはなく予算の範囲でした。自分のしたいことを絞ることに、今の人は絞りきれないと思います。



東山／自分の町にも思い当たることがあります。キントレ教室を月2回実施していて、たくさん参加しています。町会館は、10名以上だと無料で使用です。小地域ネットワークだと、おぜんだても必要だが、町の管理者としてみると、まつりの後は、ゴミを出したまま寝転がっているところをみます。今日感じたことは、青年団の応援団のおばちゃんができるといいなと思いました。

西出／まちづくりをライフづくりのひとつにしています。スポーツをとおしてまちづくりへと広がっていくことを目的にしている先生の話の聞き、ともに動けてともに語り合える人を目指して、自分自身がよき理解者になることが周りを育てることだとわかりました。

秋山／東岸和田駅でよくみかけていて、当校指導で、道路で子どもたちをみまわっている

姿もよくみえています。JRに乗っての指導は知りませんでした。公私高に入らない子どもにとっては必要だと思う。3年間で卒業されていく信念を持っていることがとてもすごい。子どもを変えらるということはむずかしいし、かかわっていく大人の影響が大きいと思います。私たちの校区に青年団ができましたが、まつりがないので活動はまだまだ。子ども会はずぶれました。

木村／これといって役に立っていることはしていません。ふらっときた。スポーツクラブのリーダーは、超多忙ですね。交通指導員を登校時に月3、4回していて、高齢者の弁当配りもしている、牛の口でテニスをしています。リーダーではないけど。青年団のいみについて、ネガティブなありかたでみていました。私の知っていることは、悪いことばかりしか知らなかったの理解できなかつたけど、今日の話でいい面もあることがわかりました。

河原／図書館勤務で遅くなりました。館の、チラシを持ってきました。参加してください

川岸／孫が自然の中で育つことを願って、農園をしているけど遠いのでこられないので、近所の子どものため育つのを楽しみに農園づくりをしています。地元の子どものもしないが、年よりはあこがれてする。そんな人が集まって野草を調べたりしています。私は、子どもたちと農園をつくるのが夢です。

石橋／青年団の組織をもっといかせる工夫が必要で、ちなみに秋山さんと同じ天神山町ですが、子ども会の人数は減ったが活動しています。

室田／熱のこもった話でよかった。体育協会は、60年で「心の育成と体力の向上を目指し、心の問題や高齢者についてもスポーツが役に立つと思う」ので会員は、愛情と熱情で信頼を築きながら、それをまちづくりにつなげていければと。



渡辺／8年前に体育協で活動しているが、今は厳しい時代で育てが大変です。自分が変わればを肝に命じています。

渡辺／35年テニスをしています。テニス人口がふえ、孫、子、親の三世代家族ぐるみでする人が増えました。斉木先生が教えている子供たちは、ごみを必ず持って帰るのでゴミ袋をもっている。見習うと思う。

正保／マチネットを見学で出席しました。私も、バスケットをしている。アンケートのお願いで、今後考えて生きたいと思います。

星川／講師にはじめて会いました。が、身近に感じます。小学校までに9割の人格が作られるときいています。

松阪／中央小学校でソフトボールを教えている。ソフトが上手になってほしいけど、挨拶ができる子、親に感謝することが大切で、運動ができて人間としてだめだといわれるといやだと思う。ここまでやってこられたのは、運動していたおかげかなと思う。

佃／「子供の運動能力が落ちているのに、高齢者が世界最高記録を作っている」日ごろの疑問を質問します。

室田／子供が体力がないということが悪いのではなく、体を動かす場がなくなっている。その場の提供が大切。高齢者は体を動かす場がある。その場をつくるよう、行政との共働を。池阪／役所に入ったときは、子供を好きではなかったけど5年半青少年課で新緑会にかかわり、毎年20名の会員を育成した。生活保護課で7年、秘書課で7年、そこで姿勢を身に付けた。鹿児島県にいったとき、「道を歩いていて、小学生から高校生まで誰でもこんにちはと挨拶をしてくれた」教育は、大事にしなければと改めて思った。まちづくりの根幹はこれだと感じた。

司会／自分は、運動オンチなので運動能力の高い人の話を聞くと置いてきぼりになるかと思ったけど、挨拶の大切さを実感した。

長田／昔は運動会で走ると、地域の人が拍手や大声で応援してくれた。今はビデオをとっているのが静か。掃除をすると、タバコやゴミがそのまま捨ててある。工夫すれば、いいのと思う。あきらめずに自分の姿を見せる教育をしたいと思う。